



「デジタル経済」オンライン対日経済ミッション 開催記念
(団長：モナ・カイゼル オランダ王国 経済・気候政策省副大臣)

スマート農業ウェビナー

日時 : 2021年2月4日 (木)
日本時間 16:00 -18:45
開催形式 : オンライン
使用言語 : 英語・日本語 (同時通訳つき)

プログラム (暫定版・敬称略)

モデレーター：FME 農業・水・食料プログラムマネージャー マーセル・ファンハーレン

※ FME：テクノロジー産業におけるオランダの雇用者連盟

全体会議

- 16:05 **歓迎の辞**
スマート農業ミッション・リーダー、日・オランダ農業対話共同議長
オランダ農業自然食品品質省
農業総局次長 ギド・ラントヘーア
- 16:10 **来賓挨拶**
農林水産省 農林水産審議官 大澤 誠
- 16:15 **基調講演「オランダのスマート農業」**
ワーヘニンゲン大学研究センター
シニアリサーチサイエンティスト コルネ・ケンペナール
- 16:30 **基調講演「日本のスマート農業」**
北海道大学 大学院 農学研究院 教授 野口 伸
- 16:45 全体会議閉会

分科会

- 17:00 A (馬鈴薯セクター) : 馬鈴薯生産におけるデータ駆動型農業の発展
B (酪農セクター) : 酪農のデジタル化と酪農経営への影響
C (施設園芸セクター) : 温室のデジタル化とロボット化
※各分科会のプログラムは次頁以降をご参照ください。
- 18:30 分科会閉会

分科会報告

- 18:30 分科会講演者によるパネル報告、質疑応答
閉会の辞 オランダ王国大使館農務参事官 エバートヤン・クライエンブリック
- 18:50 閉会

プログラムは予告なく変更になる場合があります。最新情報は B2Match プラットフォームの英文プログラムに反映されます。https://virtual-mission-japan.b2match.io/agenda?track_id=14448



分科会 A: 馬鈴薯生産におけるデータ駆動型農業の発展

2021年2月4日(木) 日本時間 17:00 - 18:30 日英同時通訳付き

プログラム (暫定版・敬称略)

モデレーター:

ワーヘニンゲン大学研究センター

シニアサイエンティスト兼フェノミクス・自動化ビジネスディベロッパー Mr. Rick van de Zedde

17:00 開会挨拶・趣旨説明

モデレーター ワーヘニンゲン大学研究センター

シニアサイエンティスト兼フェノミクス・自動化ビジネスディベロッパー

Mr. Rick van de Zedde

17:05 「データ駆動型農業への移行 (TTADDA) -新しいオランダと日本の馬鈴薯循環バリューチェーン」
プロジェクトに関する概要と最新情報

17:15 パネルディスカッション

参加者

- 日本電信電話株式会社 (NTT) 研究企画部門 村山 卓弥
- 国立研究開発法人理化学研究所 光量子工学研究
光量子制御技術開発チーム チームリーダー 和田 聡 (Ph.D.)
- Kubota Holdings Europe ゼネラルマネージャー兼最高技術責任者 Mr. Peter van der Vlugt
- ワーヘニンゲン大学研究センター
リサーチチャー コンピュータビジョン・フェノタイピング Dr. Ing. Gerrit Polder
- OnePlanet/ IMEC スマート農業プログラムマネージャー Mr. Marcel Zevenbergen

議論されるトピックの例

- 自律ナビゲーションとトラクター
- ハイパースペクトルイメージング
- 電気インピーダンスと地下で発生した塊茎を登録する可能性
- 最先端のデータ管理の側面

18:15 モデレーターによる閉会

18:20 休憩

18:30 分科会報告へ移動



分科会 B: 酪農のデジタル化と酪農経営への影響

2021年2月4日(木) 日本時間 17:00 - 18:30 日英同時通訳付き

プログラム (暫定版・敬称略)

モデレーター:

ワーヘニンゲン大学研究センター 酪農エコノミスト Ing. Jelle Zijlstra

17:00 開会挨拶・趣旨説明

モデレーター ワーヘニンゲン大学研究センター 酪農エコノミスト Ing. Jelle Zijlstra

17:05 講演「オランダの酪農セクターにおける自動化と持続可能性の概要」

ワーヘニンゲン大学研究センター酪農キャンパスマネージャー Ing. Kees de Koning

17:15 講演「日本の酪農セクターにおける自動化と持続可能性の概要」

宇都宮大学教授 池口 厚男

17:30 パネルディスカッション

参加者

- 宇都宮大学教授 池口 厚男
- ワーヘニンゲン大学研究センター酪農キャンパス マネージャー Ing. Kees de Koning
- DSM 株式会社テクニカルマーケティングマネージャー 中辻 幸信
- ホコファームグループ ビジネスユニットマネージャー Mr. Arnold van Leeuwen

議論されるトピックの例

- 日本および世界の酪農セクターの発展
- 酪農のデジタル化における次の段階 (日本とオランダの動向、今後5年間の展望)
- デジタル化への最大の障害
- 日本とオランダのコラボレーション

18:15 モデレーターによる閉会

18:20 休憩

18:30 分科会報告へ移動



分科会 C: 温室のデジタル化とロボット化

2021年2月4日(木) 日本時間 17:00 - 18:30 日英同時通訳付き

プログラム (暫定版・敬称略)

モデレーター:

ライクズワーン コミュニケーション・広報マネージャー兼トップセクター園芸種苗役員

Mrs. Anneke van de Kamp

17:00 開会挨拶・趣旨説明

モデレーター ライクズワーン コミュニケーション・広報マネージャー兼トップセクター園芸種苗役員

Mrs. Anneke van de Kamp

17:05 講演「オランダ園芸セクターにおける自動化と持続可能性の概要」

ワーヘニンゲン大学研究センター

アグロフードロボティクス プログラムマネージャー Ing. Erik Pekkeriet

17:15 講演「日本の園芸セクターにおけるロボット・オートメーションの傾向と課題の概要：高精度生体情報が可能にする栽培管理の高度化」

豊橋技術科学大学・愛媛大学 教授 高山 弘太郎

17:25 質疑応答

17:35 参加者の紹介

- ・ パナソニック株式会社マニファクチャリングイノベーション本部
ロボティクス推進室 戸島 亮
- ・ 株式会社サラダボウル代表取締役 田中 進
- ・ リダー チーフ・イノベーション・オフィサー Mr. Joep van den Bosch
- ・ ホーヘンドールン・アジア ゼネラルマネージャー Mr. Wierd Vonk

17:45 パネルディスカッション

議論されるトピックの例

- ・ 現在可能なことと、迅速に得られる利益、容易に手が届く成果
- ・ 技術、経済、人材管理における主な課題
- ・ 日本・オランダ間のコラボレーションの機会と意欲

18:20 モデレーターによる閉会

18:30 分科会報告へ移動